

福祉をテーマに熱心な意見交換



九月一日、市役所で市政懇談会「市長と語る」が開かれました。市長が直接市民の声を聞き、市政運営の参考とするために、年二回実施しています。今回は、市政モニターと市民編集委員の九人が参加。私の期待する福祉社会と市民負担」をテーマに、熱心な意見交換が行われました。

前橋 Maebashi

ア・ラ カルト

9月7日に水質浄化センターの施設開放が行われました。これは10日の「下水道の日」にちなみ、その役割や大切さを啓発するための催し。訪れた親子連れなどが施設を見学し、汚水処理について学びました。



下水処理の仕組み見学

88歳祝い市長が慶祝状



商工会議所で九月一日、米寿祝賀会が開催されました。本年度八十八歳になる百七十九人が出席。萩原市長から一人ひとりに慶祝状が手渡されました。また、第一保育所の児童が米寿を祝い、踊りなどを披露。子どもたちの熱演に、参加者は目を細めていました。

作品展示で福祉を理解



九月は「知的障害者福祉月間」です。これに合わせ、九月一日から十二日まで、市役所1階と12階市民ロビーで作品展を開催。養護学校のほか、多くの生徒たちの感性豊かな作品が、展示されました。



舞踊で伝統芸能を体験

9月6日、総合教育プラザで小中学生対象の日本舞踊体験教室が開かれました。5回コースの3回目。長唄小曲の課題曲を振り写しで踊り、日本の伝統芸能を体験しました。